

「市民感謝 消費拡大フェア2019」で周知活動を行いました。

塩と暮らしを結ぶ運動では、2019年9月15日（日）、札幌市中央卸売市場で開催された「市民感謝 消費拡大フェア2019」（主催：札幌市中央卸売市場イベント事業実行委員会）において、周知活動を実施しました。その様子をご紹介します。

塩と暮らしを結ぶ運動の協力団体である札幌市中央卸売市場を会場として開催されたこのイベントは、札幌市民の皆様への感謝をこめるとともに消費の拡大を図るために、一日限り市場を開放するというもので、「生マグロ解体ショー & 即売会」「ホタテ釣り」「野菜詰め放題」をはじめ、水産物や農産物の即売など、たくさんの催しが行われました。

株式会社北海道ソルト（全国塩元売協会会員）と公益財団法人塩事業センターは、札幌市中央卸売場の協力のもと、このイベントにブースを出展し、塩の即売等を行いました。このブースで、塩と暮らしを結ぶ運動の周知活動も実施しました。

市場が会場ということで、朝7時30分という早い時間のスタートでしたが、早くから大勢の方がお越しになり、イベント全体では、約31,000人の来場がありました。来場者の皆さまは、さまざまな催しで楽しんでいただき、また水産物や農産物の即売も大人気でした。

そんな賑わいの中、塩と暮らしを結ぶ運動では、ブースにお越しいただいた50名の方に、『塩と暮らしのあれこれBOOK』、塩イルカのクリアファイルやマグネットをお渡しし、水産物や農産物の加工に欠かせないだけでなく、それだけに止まらない塩と暮らしの関わりについて、お伝えすることができました。

